

令和4年度（2022年度）

高校生活の手引き

（抜粋）



熊本県立鹿本商工高等学校

〒861-0304 熊本県山鹿市鹿本町御宇田3 1 2 番地

TEL (0968) 46-3191 (代表)

FAX (0968) 42-3031

<https://sh.higo.ed.jp/kasyoko/>

《校 訓》

創 造 ・ 礼 節 ・ 勤 勞

綱 領

- 1 真理を愛し創造的な人間になろう。
- 2 勤勞を尊び誠実な人間になろう。
- 3 個性豊かで自主的な人間になろう。
- 4 廉恥を重んじ勇氣ある人間になろう。
- 5 互いに信頼し敬愛しあう人間になろう。



校 歌

作詞 山口白陽
作曲 出田憲二

一、風青き 来民の広野

木せいこの 花咲くところ
若人の 夢も薫れり
おお われら 鹿本商工
克ちとらん 不滅の真理

二、水歌う 菊池の流れ

呼び交わす 生命にふれて
若人の 声は和したり
おお われら 鹿本商工
魁けん 時代の潮

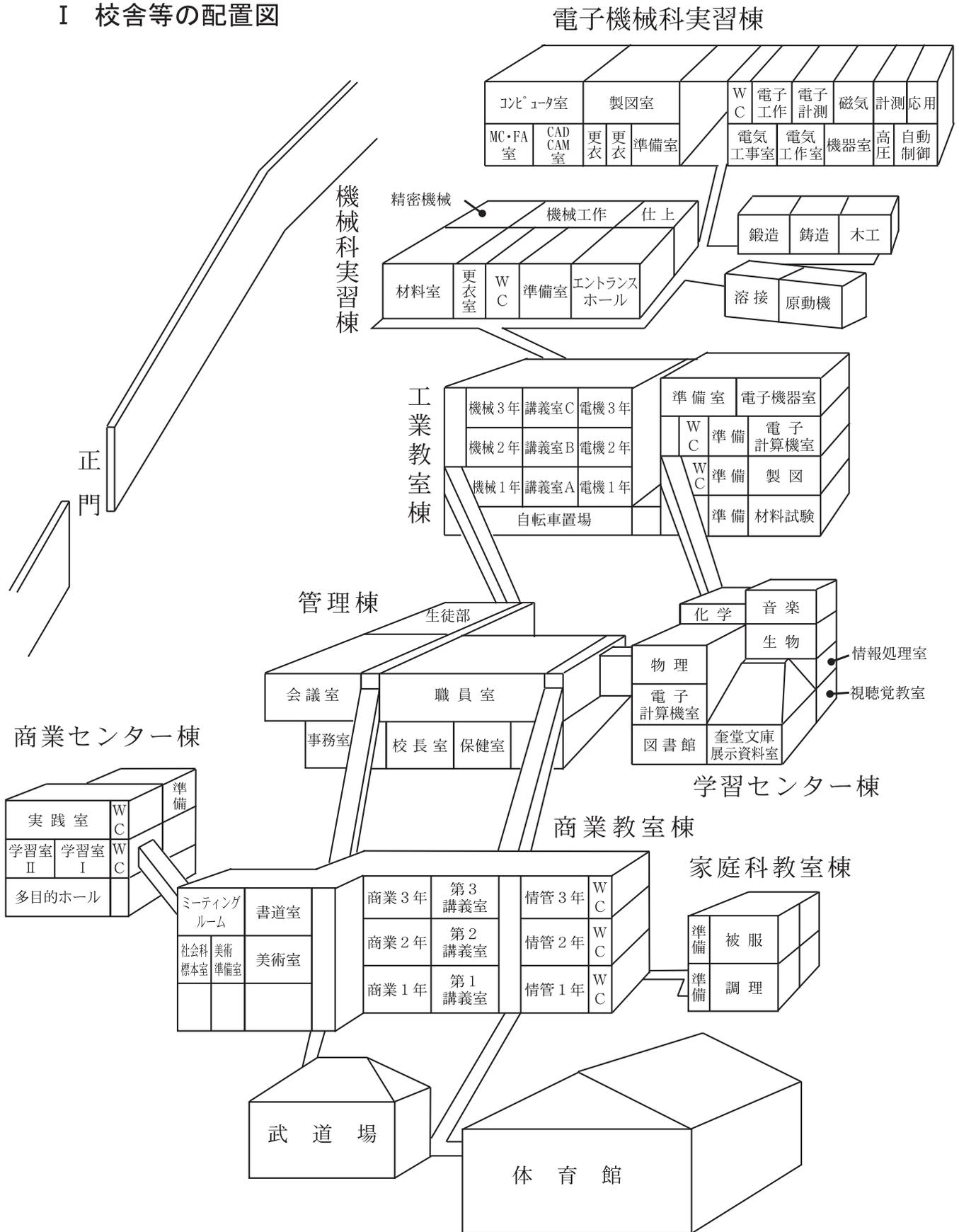
三、雲生るる 不動の巖根

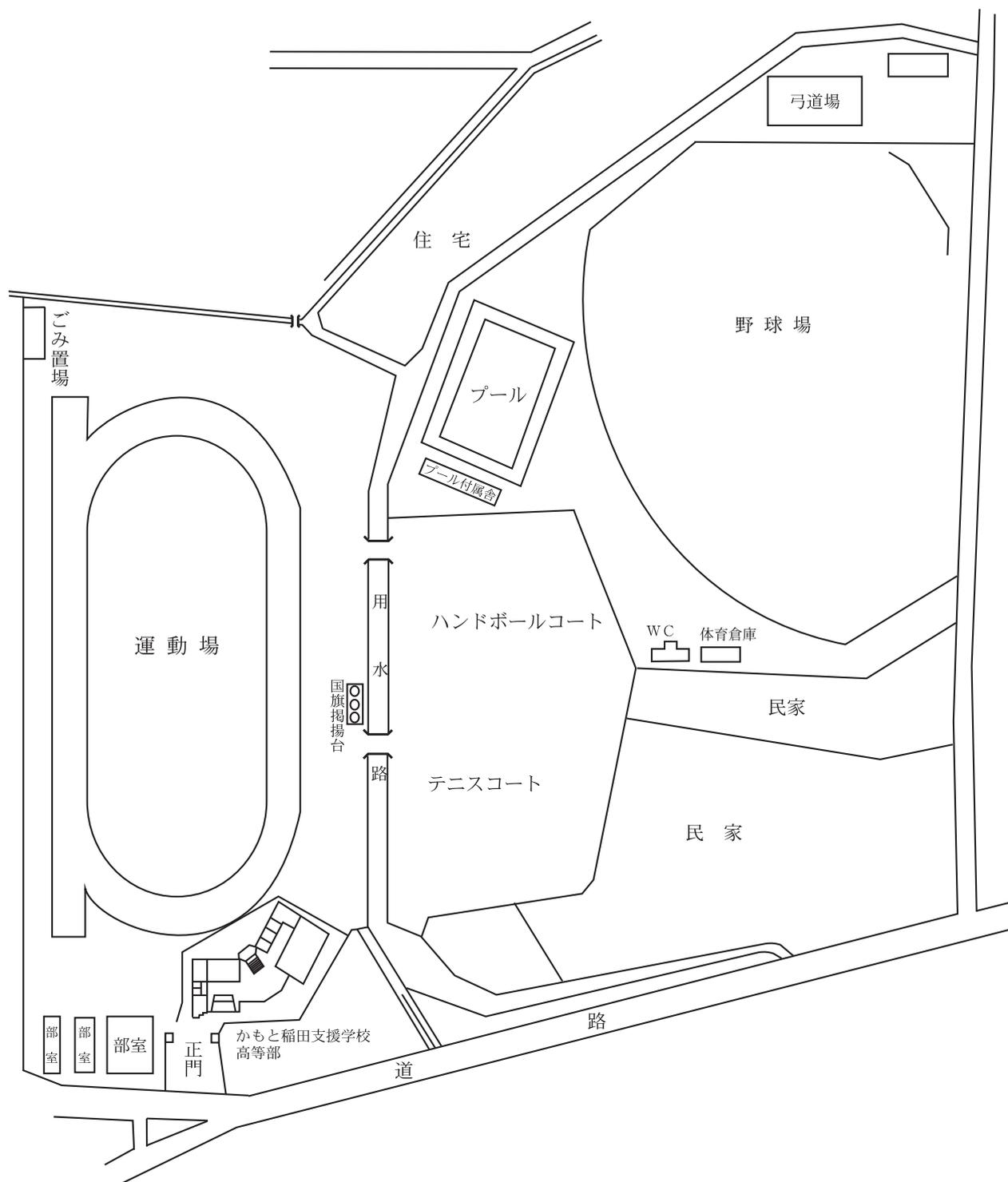
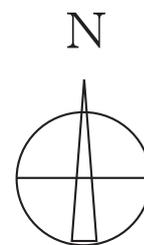
人の世の 黎明に立ちて
若人の 眉は昂れり
おお われら 鹿本商工
押し開けん 未来の扉

目 次

I	校舎等の配置図	1
II	各学科の学習内容	3
III	各学科の資格取得について	7
IV	学校全体のきまり	8
V	進路について	11
VI	図書館からのお知らせ	13
VII	学校生活の心得	14
VIII	奨学金について	19

I 校舎等の配置図





II 各学科の学習内容

商業科

1 目標

消費者の視点に立ち、顧客満足を実現する能力及びビジネスの機会をとらえ経済社会の発展に取り組む力を養い、ビジネスを通して地域経済の発展を担う職業人の育成を目指す。

- (1) 商業に関する各分野（マーケティング分野、マネジメント分野、会計分野、ビジネス情報分野）に関する基礎的・基本的な知識と技術及び技能を習得する。
- (2) 商業に関する各分野の学習の実践を通して、地域社会の経済発展に寄与する能力と態度を身に付ける。
- (3) 集団生活におけるルールや学習のマナーを身に付ける。

2 3年間の学習

		1年	2年	3年	計	主な教科または科目	
普通科目		18	17	18	53	国語、地歴、公民、数学、理科、保体、芸術（音楽Ⅰ・美術Ⅰ）、外国語、家庭	
専門科目	マーケティングコース	11	12	11	34	ビジネス基礎、ビジネスコミュニケーション、簿記、情報処理、マーケティング、課題研究、総合実践、財務会計Ⅰ、ソフトウェア活用	商品開発と流通、観光ビジネス
	会計コース		12	11	34		原価計算、財務会計Ⅱ

経済のしくみを販売実習、マーケティング活動、商品開発等を通して基礎から学びます。それらを活かして新しいことにチャレンジし、消費者の視点に立ってニーズを適切に捉える力を高め、多様化するビジネス社会で活躍したい生徒に適した学科です。

また、2年次からはコース制（マーケティングコース、会計コース）を導入して、生徒一人ひとりの進路を実現する環境を整えています。

【マーケティングコース】

「かざぐるま」での地域イベント参加による販売実習や新商品の開発等を通して総合的なビジネス教育を行い、学んだことを社会に活かせる人材育成を目指す。

【会計コース】

高度な資格取得へのチャレンジを通して主体的に学び続ける態度を養い、自身のキャリアアップを図り事務系職種への就職や上級学校への進学を目指す。

3 取得可能な資格・検定

簿記実務検定、商業経済検定、ビジネス計算実務検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定、英語検定、販売士検定、秘書検定

情報管理科

1 目標

商業の学習や体験的な学習を通して地域や経済社会に貢献できる人材を育成します。

また、将来のICT分野のスペシャリストの育成という観点からビジネス情報分野（ICT関係科目）を重点的に学習し、実習や資格取得等を通して情報活用能力の育成を目指します。

- (1) 商業に関する基礎的・基本的な知識と技術及び技能を習得する。
- (2) 情報活用能力を身に付ける。
- (3) 集団生活における規範意識やマナーを身に付ける。

2 3年間の学習

		1年	2年	3年	計	主な教科または科目	
普通科目		18	17 又は 21	18 又は 22	53 又は 61	国語、地歴、公民、数学、理科、保体、芸術（音楽Ⅰ・美術Ⅰ）、外国語、家庭	
専門科目	情報コース	11	12	11	34	ビジネス基礎、簿記、情報処理、プログラミング、課題研究、ソフトウェア活用、総合実践、財務会計Ⅰ	ビジネスコミュニケーション、ネットワーク活用、ネットワーク管理、グローバル経済
	進学コース		8	7	26		

商業の科目の中でもビジネス情報分野（ICT関係科目）が充実しており、ビジネス情報に関する知識と技術を高め、情報分野で活躍したい生徒に適している学科です。

【情報コース】

主に表計算ソフトウェアやデータベース、プログラミングに関する学習を行い、専門性を高めて高度化する情報化社会に柔軟に対応できる能力の育成を目指します。

【進学コース】

2年次から普通教科（国、理、英）の授業の割合を増やし、進学対策に取り組みます。指定校推薦制度等を活用して上級学校への進学を目指します。

3 取得可能な資格・検定

情報処理検定（ビジネス情報分野 プログラミング分野）、ITパスポート試験（経産省）、簿記実務検定、ビジネス文書実務検定、ビジネス計算実務検定、英語検定

機械科

1 目標

授業や実習、資格取得を通して学力と専門技術・安全意識を十分に身に付けた、工業界のあらゆる分野で活躍できる機械技術者を育成します。

- (1) 「ものづくり」をとおして、実践的な技能を高め、機械に関する基礎的・基本的内容の確実な定着をはかり、社会に貢献できる工業技術者を育成する。
- (2) 機械の専門的な分野においても社会のニーズに対応できる思考力・判断力・表現力等の能力をはぐくむ。
- (3) 技能士・資格取得に主体的に取り組む態度を養い、計画的・組織的に適切な指導や支援を行う。

2 3年間の学習

	1年	2年	3年	計	主な教科または科目
普通科目	18	18	17	53	国語、地歴、公民、数学、理科、保体、芸術（音楽Ⅰ・美術Ⅰ）、外国語、家庭
専門科目	11	11	12	34	工業技術基礎、実習、製図、原動機、機械工作、機械設計、課題研究、工業情報数理、電気回路

(1) 機械実習

実習（機械実習）では、「ものづくり」を重視した作業を通して各種の技術・技能を習得する。各専門教科で学んだ知識を活用し、体験により理論と実践を総合的に習得する。

(2) 機械製図

製図機器及びCAD（コンピュータを使って書く製図）を使用して製図に関する基礎的な知識と技術を習得する。生産に直結した製作図を作成できる能力を養うと共に、製図検定の取得を目指す。

(3) 情報技術基礎

電子計算機の構成と操作およびプログラミングの基礎知識について学習する。3年の実習ではMC（マシニングセンター）による数値制御のプログラミング、機械の操作等について学習する。

(4) 課題研究

工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して専門的な知識と技術の深化・総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的学習態度を習得する。

(5) 資格・検定

計算技術検定・情報技術検定・3級技能検定・ボイラー取扱技能講習・基礎製図検定など、各種の資格・検定取得に挑戦する。

電子機械科

1 目標

機械、電気、情報に関する基礎的知識・技術を学び、これを元にメカトロニクスの分野に関する知識と技術を身につけ、産業界を支える技術者を養成します。

- (1) 機械・電気・情報技術の基礎・基本を包括的かつ実践的に習得する。
- (2) 課題研究や実習を通して「ものをつくる」喜び・達成感を体験し、問題解決能力や主体的に取り組む態度を育成する。
- (3) 電子機械分野の「システム全体を見通すための技術的視点」を身につけることを目指すと共に、各コースにおいて機械制御、電気・電子回路、プログラミング、電気工事等の産業界の基盤となる技術を身につける。

2 3年間の学習

		1年	2年	3年	計	主な教科または科目	
普通科目		18	18	17	53	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術（音楽Ⅰ・美術Ⅰ）、外国語、家庭	
専門科目	機械制御コース	11	11	12	34	【1年】 工業技術基礎、工業情報数理、電子機械、電気回路	【2年】 機械設計 【3年】 機械工作
	電気通信コース		11	12		34	【2年】 実習、製図、プログラミング技術、電気回路 【3年】 課題研究、実習、工業環境技術

2年次からはコース制（機械制御コース、電気通信コース）を導入している。コース別に内容を精選し、興味・関心のある分野において、座学では基礎的知識を、実習では確かな技能を身に付ける環境を整えている。どちらのコースを選んでも、進学・就職には影響がありません。また、資格取得においても、課外等で対応するので影響はありません。

【機械制御コース】

製品に使用される材料や製造方法を学ぶと共に、旋盤などの基本的な機械加工についての実習を行う。機械系ものづくりの基礎・基本を学習する。

【電気通信コース】

電子回路やネットワーク技術について基礎的な部分を学ぶと共に、光ファイバーケーブル融着実習などを行う。電気系ものづくりの基礎・基本を学習する。

Ⅲ 各学科の資格取得について

本校では多くの資格を修得することができます。そのための学習に力を入れています。取り組みやすい資格からはじめて、難しい資格にも挑戦していきます。資格を取得することで、自信が付き、就職や進学にも有利になります。積極的にチャレンジしましょう。

以下のようなスケジュールで受験していきます。早いものでは1年生の6月には受験するものもあります。

	商業科・情報管理科						機械科・電機科共通				機械科				電子機械科												
	全商簿記実務検定※	全商情報処理検定(商業科)※	全商情報処理検定(情報管理科)※	全商ビジネス文書検定	全商ビジネス計算実務検定	全商英語検定	ITパスポート	計算技術検定	基礎製図検定	パソコン利用技術検定	技能検定(普通旋盤作業)	危険物取扱者	技能検定(機械検査作業)	機械保全技能検定	機械製図検定	情報技術検定	ボイラー取扱技能講習	小型車両系建設機械	初級CAD検定	第1種電気工事士(筆記・技能)	第2種電気工事士(筆記・技能)	2級電気工事施工管理技術検定	技能検定・電子機器組立	技能検定・普通旋盤作業	第2級デジタル通信	消防設備士乙種第7類	
1 学年	4月																										
	5月																										
	6月					○				○																	
	7月			△																							
	8月																										
	9月		○								○機																
	10月																										
	11月			○		○			△			△															
	12月						○			△				△													
	1月	○	○							△			△			○											
	2月				○							△															
	2 学年	4月																									
5月																											
6月		□				○		△			△			○	△						○筆						
7月				△						△	△		△	△			○				○技						
8月																											
9月		○	○			△				○電																	
10月																					△筆	△筆					
11月				△		△		△			△										△技		△			△	
12月						△					△	△		△							△技	△技			△		
1月		○	○	○									△			△								△			
2月					△							△															
3月																											△
3 学年	4月																										
	5月																									△	
	6月	□				△		△			△			△	△						△筆	△				△	
	7月			△						△	△		△	△							△技	△技		△	△		
	8月																△										
	9月		□	□			△			△																	
	10月																				△筆	△筆					
	11月				△		△	△			△												△			△	△
	12月						△														△技	△技					
	1月	□	□	□												△											
	2月				△			△				△															
	3月																										

□：卒業までに取得する資格 ○：全員受験 △：希望受験

※簿記実務検定及び情報処理検定については、3年時に1級または3級に合格していない生徒は、1級または3級以上を受験すること。

IV 学校全体の決まり

1 本校の教育課程

令和4年度(2022年度)教育課程表			熊本県立鹿本商工高等学校 全日制															
学 科			商 業 科						情 報 管 理 科									
入 学 年 度			令和4年度(2022年度)入学						令和4年度(2022年度)入学									
令和4年度(2022年度)現在学年〇印			I		II		III		計		I		II		III		計	
教科	科目	標準単位	全	マーケ	会計	マーケ	会計	マーケ	会計	全	情報	進学	情報	進学	情報	進学	計	
				ティン	コース	ティン	コース	ティン	コース									ティン
国語	現代の国語	2	3							3	3						3	
	言語文化	2		2						2	2						2	
	論理国語	4										2		2			4	
	文学国語	4				4		4						4			4	
地理 歴史	地理総合	2				2		2						2			2	
	歴史総合	2	2							2							2	
公民	公民	2		2						2							2	
数学	数学 I	3	4							4							4	
	数学 A	2		3						3							3	
	*数学総合	3				3		3						3			3	
理科	科学と人間生活	2		2						2							2	
	化学基礎	2												2			2	
	生物基礎	2				2		2						2			2	
保健 体育	体育	7~8	3	2		2		7		3	2		2				7	
	保健	2	1	1				2		1	1						2	
芸術	音楽 I	2	□2	□1				0,3		□2	□1						0,3	
	美術 I	2	□2	□1				0,3		□2	□1						0,3	
外国語	英語コミュニケーション I	3	3					3		3							3	
	英語コミュニケーション II	4				3		3					3				3	
	論理・表現 I	2		2				2			2						2	
	論理・表現 II	2										2					2	
家庭	家庭総合	4		2		2		4			2		2				4	
情報	情報 I	2																
各	学科共通教科計		18	17		18		53		18	17	21	18	22		53	61	
商業	ビジネス基礎	2~4	3					3		2							2	
	課題研究	2~4				3		3					3				3	
	総合実践	2~4				2		2					2				2	
	ビジネス・コミュニケーション	2~4	2					2			2						2	
	マーケティング	2~4		3				3										
	商品開発と流通	2~4		3				3										
	観光ビジネス	2~4				3		3										
	グローバル経済	2~4											2			2		
	簿記	2~4	4					4		3							3	
	財務会計 I	2~4		4				4			4						4	
	財務会計 II	2~4					3		3									
	原価計算	2~4			3				3									
	情報処理	2~4	2	2					4	4							4	
	ソフトウェア活用	2~4					3		3			2		2			4	
プログラミング	2~4								2		2					4		
ネットワーク活用	2~4									2						2		
ネットワーク管理	2~4												2			2		
専門教科計			11	12	12	11	11	34	34	11	12	8	11	7		34	26	
特別活動	ホームルーム活動		1	1		1		3		1	1		1				3	
総探	総合的な探究の時間	3~6																
合 計			30	30		30		90		30	30		30				90	

各学科共通教科「情報」科目「情報 I」は、専門教科「商業」科目「情報処理」で代替する。

「総合的な探究の時間」3単位は、専門教科「商業」科目「課題研究」で代替する。

□のついた科目は同じ印のついた科目の中から1つ選択する。

令和4年度(2022年度)教育課程表			熊本県立鹿本商工高等学校 全日制											
学 科			機 械 科				電 子 機 械 科							
入 学 年 度			令和4年度(2022年度) 入学				令和4年度(2022年度) 入学							
令和4年度(2022年度)現在学年○印			I	II	III	計	I	II		III		計		
教科	科目	標準単位	全	全	全	全	全	機械制御コース	電気通信コース	機械制御コース	電気通信コース	機械制御コース	電気通信コース	
														全
国語	現代の国語	2	3			3	3						3	
	言語文化	2		2		2		2					2	
	文学国語	4			4	4				4			4	
地理 歴史	地理総合	2			2	2				2			2	
	歴史総合	2	2			2	2						2	
公民	公 共	2		2		2		2					2	
数学	数 学 I	3	4			4	4						4	
	数 学 II	4		4		4		4					4	
	数 学 A	2			2	2				2			2	
理科	科学と人間生活	2		2		2		2					2	
	物理基礎	2			2	2				2			2	
保健 体育	体 育 7~8		3	2	2	7	3	2		2			7	
	保 健	2	1	1		2	1	1					2	
芸術	音 楽 I	2	□2	□1		0,3	□2	□1					0,3	
	美 術 I	2	□2	□1		0,3	□2	□1					0,3	
外国語	英語コミュニケーションI	3	3			3	3						3	
	英語コミュニケーションII	4			3	3				3			3	
	論 理 ・ 表 現 I	2		2		2		2					2	
家庭	家 庭 総 合	4		2	2	4		2		2			4	
情報	情 報 I	2												
各 学 科 共 通 教 科 計			18	18	17	53	18	18		17		53		
工業	工業技術基礎	2~6	3			3	3						3	
	課題研究	2~6			3	3				3			3	
	実 習	4~15		3	3	6		3	3	3	3	6	6	
	製 図	2~16	2	2	2	6		2	2	2	2	4	4	
	工業情報数理	2~6	2			2	2						2	
	工業環境技術	2~6								2			2	
	機械工作	2~8	2	2		4				2		2		
	機械設計	2~8	2	2	2	6		2				2		
	原 動 機	2~4		2		2								
	電子機械	2~6					3						3	
	電気回路	2~8			2	2	3	2					5	
	電子技術	2~6							2				2	
	通信技術	2~6									2		2	
プログラミング技術	2~6							2				2		
専 門 教 科 計			11	11	12	34	11	11	11	12	12	34	34	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	1	1		1			3	
総探	総合的な探究の時間	3~6												
合 計			30	30	30	90	30	30		30		90		

各学科共通教科「情報」科目「情報I」は、専門教科「工業」科目「工業情報数理」で代替する。
「総合的な探究の時間」3単位は、専門教科「工業」科目「課題研究」で代替する。
□のついた科目は同じ印のついた科目の中から1つ選択する。

2 年間行事・進路指導計画概要

	校 内 行 事	進 路 関 係	対 外 的 行 事	
1 学 期	4月	入学式、始業式(4/8) 新入生テスト 宿泊研修(1年) 部活動結成 健康診断 身体計測・新体力テスト 育友会総会	全学年進路希望調査 阿蘇・菊鹿地区体育大会	
	5月	体育大会	「進路ガイド」発行	
	6月	公開授業週間 人権教育LHR 期末考査	進学ガイダンス(2,3年) 第1回面接指導(3年) 小論文・作文模試(3年)	県高校総文祭 県高校総体 全国高等学校・九州地区高等学校 ワープロ競技大会熊本県予選 全国・全九州高等学校 珠算・電卓競技大会熊本県予選 高校生ものづくりコンテスト熊本県大会
	7月	学びの基礎力診断テスト 終業式	求人受付開始 三者面談 インターンシップ(2年) 面接試験マナー指導	高校生ものづくりコンテスト九州大会 熊本県生徒商業研究発表大会
	8月	中学生体験入学 登校日 始業式 課題考査	三者面談 校内選考(3年)	
2 学 期	9月	人権教育LHR	就職試験開始	
	10月	中間考査 商工フェスタ 芸術鑑賞	企業見学(2年)	全国商業高等学校英語スピーチコンテスト熊本県予選 EVフェスティバル九州 in くまもと(エコ電カー大会) 熊本県ワープロ新人競技大会 ジャパンマイコンカーラリー 熊本県大会
	11月	公開授業週間 期末考査	進路相談	ジャパンマイコンカーラリー 九州大会 アイディアロボット競技大会 生徒研究発表大会(工業関係高校)
	12月	学びの基礎診断テスト 修学旅行(2年) 長距離走大会 クラスマッチ 終業式	進路希望調査(1,2年)	熊本県珠算・電卓競技大会
3 学 期	1月	始業式 課題考査 課題研究発表会(各学科) 高校入試前期(特色)選抜	職業興味検査(1年) 面接指導(2年)	
	2月	人権教育LHR 学年末考査(1,2年) 高校入試後期(一般)選抜	進路希望調査(1,2年) 内定者セミナー(3年)	
	3月	卒業式 クラスマッチ 終業式	進路ガイダンス(1,2年)	

V 進路について

1 進路指導目標

生徒一人ひとりが、自己の能力や適性を理解し、生徒自ら将来の進路を選択し、自ら決定できる能力を育てる。また、職業観・勤労観の育成および自己の進路実現のためのキャリア発達を目指して、次のような取り組みを実施する。

ア 全生徒にリングファイルを持たせ、キャリア発達に関するすべてのデータをポートフォリオ形式で綴る。

イ リングファイルは生徒の自己管理とし、3年間持ち上がるものとする。

ウ すべての基礎である、基本的な生活習慣の確立のため、「創造」「礼節」「勤労」の各校訓の実践項目を中心に、全職員で指導に取り組む。

エ 「挨拶の励行」「服装の徹底」「時間の厳守」を年間を通じた課題と位置づけ、あらゆる機会を通して実践指導を行う。

《3年間を見通した進路指導のあり方》

第1学年 将来の進路について関心を持たせるとともに、自己の能力・適性・興味等について理解を深める。

第2学年 自己理解をさらに深めさせ、職業や上級学校に関する進路情報・資料を的確に把握させ、より適切で具体的な進路決定ができるようにする。

第3学年 進路希望実現のための計画的な学習及び生活態度の形成を図る。また、卒業後の社会生活に適応する能力や態度を養う。

2 進路の概況

《就職》

これまで、県内・県外の各事業所から、多くの求人があり、事業内容・職種も多岐にわたり各方面に就職し活躍をしています。

就職先は、地域的には県内が多く、続いて中京地区・九州地区になっています。職種別では、男女とも、製造職、販売職、サービス職に主に就いています。公務員では、本校では自衛官の合格者がほとんどです。

《進学》

約2割の人が上級学校へ進学をします。四年制大学・短期大学・高等看護学校・専門学校・准看護学校など多岐にわたります。ほとんどの場合、何らかの推薦入試で受験し合格しています。

3 就職・進学の心構え

就職するにしても、進学するにしても早めの取り組みが大切です。将来の事をしっかり考えて、以下のことに注意して学校生活を送るようにしましょう。

☆基本的な生活習慣を確立する。早寝早起き、食事をきちんと取る、といったことです。遅刻・欠席をしないということにもつながっていきます。部活動にしっかり取り組むことも重要です。

☆基礎学力を確かなものにする。学習を進める上でも、就職試験を受ける上でも土台となる基礎学力が非常に大切です。

4 主な進路先（過去3年間）

（1）就職

【県内】

アイディエス、アースアテンド熊本事業所、あつまるホールディングス、植木青果市場、エイティー九州、エコ・ステーション、エヌ エフ ティ、エレテック、オカザキ、緒方建設、小川食品、オジックテクノロジーズ、鹿本農業協同組合、KDS菊池自動車学校、菊池台地用水土地改良区、菊池地域農業協同組合、九州産交ツーリズム、九州イノアック、九州オークラ、九州ケーズデンキ、九電工、九州産交リテール、九州三和鉄軌、九州情報システム、九州ティ・エス、九州テクニカルメンテナンス、九州電設、九州プレジジョン玉名工場、九州柳河精機、極陽セミコンダクターズ、熊本県農業共済組合、くまさんメディクス大津工場、熊本ニチアス、熊本森六化成、合志技研工業、コーシン、コメリ、サカイ引越センター、三共ポリエチレン九州事業所、サン・メディカル、サンワアルティス、ジャパンマリンユナイテッド有明事業所、ジェイデバイス、スイーツ・スイーツ、清流荘、タイヘイテクノス、トッパンエレクトロニクスプロダクツ熊本工場、南星機械、ニシヨリ、ニフコ熊本、日産部品九州販売、日本電子材料熊本事業所、ネクサスプレジジョン、ネクスト、ハクゾウメディカルテクノス、博陽工業、パナソニック IS 社熊本地区、濱田重工業シリコンウエハー事業部熊本工場、日立造船有明工場、肥後銀行、フジクラプレジジョン、富士ダイス熊本工場、フジバンビ、福留ハム熊本工場、フチガミ、フュージョン、フランソア、豊栄建産、保利病院、本田技研工業、マークス、丸山ステンレス工業、ミライアル、メルコ・ディスプレイ・テクノロジー、山鹿タクシー、山清工業九州、ヤマト運輸、熊本主管支店、陽光、LIXIL有明工場、リョーユーパン熊本工場、やまびこ旅館、ラ・モード、ARCH of hair kumamoto

【県外】

アートコーポレーション、アイシン精機、アドヴィックス、いすゞ自動車、エコノ・テレステーション、ENEOSウイング九州支店、小田急電鉄、九電工、JR九州エンジニアリング、JFEスチール西日本製鉄所、大同特殊鋼、大同キャスティング、デザートランド九州工場、デンソー、東京ビジネスサービス、トヨタ自動車、トヨタ自動車九州、トヨタ車体、豊田自動織機、トヨタ紡織九州、にしけい、日産車体九州、日産自動車、日鉄テックスエンジン名古屋支店、西鉄ストア、ハイウェイ・トール・システム、ビューテック、マツダ、三菱自動車工業岡崎製作所、三菱ロジスネクスト、吉川工業、レッドバロン

【公務員】

自衛隊（一般曹候補生、自衛官候補生）

（2）進学

【大学】

熊本学園大学、尚綱大学、崇城大学、福岡工業大学、久留米大学、日本工業大学、久留米工業大学、福岡大学

【短期大学】

尚綱大学短期大学部、九州大谷短期大学、福岡工業短期大学部

【短期大学校】

熊本県立技術短期大学校、川内能力開発短期大学校

【専門学校・各種学校】

熊本看護専門学校、熊本市立総合ビジネス専門学校、熊本駅前看護リハビリテーション学院、九州中央リハビリテーション学院、熊本電子ビジネス専門学校、熊本デザイン専門学校、熊本工業専門学校、熊本ベルエibel美容専門学校、ハリウッドワールド美容専門学校、湖東カレッジ専門学校、九州美容専門学校、熊本YMCA学院専門学校、菊池郡市医師会立看護高等専修学校、大原簿記情報専門学校、大阪航空専門学校、久留米自動車工科大学校、日本マンガ塾、大原スポーツ公務員専門学校、西鉄国際ビジネスカレッジ

VI 図書館からのお知らせ

合格おめでとうございます。希望に満ちた高校生活を思い浮かべていることと思います。充実した毎日を過ごせるよう私達も願っております。また、そのための協力を惜しみません。

そこで私たちから提案があります。1日に1度は図書館を訪れてください。本や雑誌、新聞を手にとってみてください。そして気になったものを借りてみてください。全部読み切らなくても構いません。そのような生活を「習慣」として身につけて欲しいのです。

スマートフォンで調べれば様々な情報を得られる便利な世の中になりました。今後ますます便利さが増すことでしょう。しかしどんな物事にも良いことばかりではなく、マイナスの部分を持っています。例えば、自分の名前を隠して人の悪口などを投稿しその人を傷つけたり、ワンクリック詐欺等の経済犯罪などもよく聞きます。ちょっと考えれば分かることでも、正しく判断し行動する力を養わなければこれからの社会では生きていけません。1冊の本を読むには時間がかかります。でもこの時間が君たちに知識と正しく判断し行動する力を与えるのです。

商業を学ぶ皆さんには、ビジネスマナー、会計、広告、スマホアプリ開発などの図書、経営者の言葉をまとめたものもおすすめです。

工業を学ぶ皆さんには、設計、製作・加工などの技術、安全対策等の図書、そして最新技術は専門雑誌がおすすめです。

また、小説も読んでください。長い人生の中では、色々な悩みにぶつかります。このようなとき、どう考え行動したらよいかを読書をする事でじっくりと考えることができます。小説家は言葉の達人です。人の心の中を上手に表現して、私たちに考える場を与えてくれます。

このように図書館には、これからの社会を生き抜く力を養うのに役立つ資料、高校3年間で学習していくために参考となる資料、部活動や趣味などに参考となる資料が君たちを待っています。

図書館では、全ての在校生が一月に2冊は本を借りて読んで欲しいと考えます。難しい目標ではないと思います。限られた予算の中ですが、皆さんの要望を聞きながら蔵書を充実させたり、他の高校や近くの公共図書館から借りたりして提供していきますので、足繁く図書館を訪れてください。

図書館の本や雑誌は、冊数の制限はなく2週間借りることができます。

図書館には専任の学校司書や司書教諭がいますので気軽に声をかけてください。

Information

主な分野の蔵書数（単位：冊）			
商業系	工業系	文学	蔵書数
約750	約2,500	約10,200	約31,000

パソコン、タブレットPC 各2台配置
蔵書検索やインターネット、文書作成等ができます。

<購入雑誌>※最新号以外は貸し出しできます
アニメディア、オレンジページ、ジュニアエラ、ダ・ヴィンチ、
電気と工事、Number、日経PC21、ニュートン、部落解放

<購入新聞>
熊本日日新聞、朝日新聞
日本経済新聞、読売新聞

VII 学校生活の心得

1 準備物

- (1) 生徒証⇒入学後配布
- (2) 通学バッグ⇒入学式当日配布。ファーストバックとして3年間使用。入らない荷物に関してはリュック等華美でないものの使用を認める。
- (3) 通学靴⇒ローファー
- (4) 校内上履き⇒4/5 (火) 体育館にて販売
- (5) 制服

*在学中における成長に伴う制服補正は無償となっています。

*補正や新規購入は生徒部を通じて行ってください。店舗での直接の受付はできません。

*本校規定の防寒着予約案内は11月に行う予定。

2 通学について

- (1) 交通道德ならびに交通法規を厳守し事故を招くことのないよう注意する。
- (2) 通学については次の基準により許可する。方法については毎年年度初めに届出なければならない。原則としては、徒歩、自転車またはバス通学の自力登校を基本とする。

【バス通学】

バス通学を希望する者は事務で通学証明書の交付を受けること。

【自転車通学】

ア 自転車通学を希望する者は、生徒部に許可願（提出8）を提出すること。

イ 自転車通学上の注意

- a 通学に使用する自転車は県警の防犯登録をする。
- b 二重ロックをする。
- c 学校の指定された場所に置く。
- d 自転車の並走、無灯火、イヤホン着用、携帯電話操作をしながらの運転は禁止。
- e 雨天時の通学には必ず雨カップ（付票12）を使用すること。

ウ 次の自転車は許可しない。

- a マウンテンバイク及びミニサイクル24インチ未満
- b スプレー缶で上塗りした自転車
- c 後輪の泥除けのない自転車
- d ハブステップ装着車

【普通自動車免許取得等】

ア 原動機付き自転車及び自動二輪の免許は、原則として認めない。

イ 普通自動車の免許取得、自動車学校入校は、3年次第2学期中間考査以降に設定し、別途許可をする。

【原動機付き自転車（原付バイク）通学】

ア 遠距離通学生等に限り1年次第2学期より認め、別途許可をする。

イ 通学用バイクには任意保険を必ず掛けること。

3 段階的指導について

(1) 目的

本校の教育活動全般を通して、段階的指導を導入して生徒の規範意識の醸成、基本的生活習慣の確立、自己管理能力の育成を目指すと同時に、将来の進路実現にそなえる。

(2) 方法

教育的指導・注意・喚起の中に「指導票」を取り入れ、指導を行う際に指導履歴として発行する。指導を受けた生徒に対して、指導票の枚数を累積していき、受けた回数により指導レベルを上げて改善の深化をはかる。

- 1) 服装や生活面で指導が必要な時に職員が生徒に対して注意を行うと同時に指導票を発行する。
- 2) 担任はクラス生徒の累積、指導内容を確認し、毎朝生徒への指導に当たる。
- 3) 指導票の累積により、担任指導から学年主任・学科主任・生徒部長・教頭・校長と指導を深化させる。
- 4) 生徒部が指定する愛校作業に参加すれば累積を減らせる。

(3) 内容

1) 服装指導関係（校内・校外も含む）

指導の対象	指導項目	指導票発行の基準
男子	腰パン 夏服時の色シャツ ベルト シャツ出し ネクタイ ズボンの裾まくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエストが腰の位置に落ちている ・夏服から色シャツや文字が透けている ・制服にふさわしくないもの ・シャツがでている ・所定の位置で結ばれていない ・ズボンの裾をまくっている
女子	スカート丈 化粧 髪結び リボン	<ul style="list-style-type: none"> ・裾が膝にかかっている ・認めない ・肩よりも長い場合に華美でないゴムで結んでいない ・留めていない
共通	頭髪・服装（眉） 靴 カバン 装飾品 爪 制服の着崩し 靴下 ピアス穴	<ul style="list-style-type: none"> ・面接試験等に挑む形・姿ではないもの ・ローファー以外 ・指定カバンを持っていない ・学校生活に不必要な装飾品等を身に付けている場合 ・爪が伸びている ・制服の着崩し、指定外のセーター、首元や袖口のボタンを外している等だらしのない格好、面接試験に挑む正しい着こなしでないもの ・制服にふさわしくないもの ・耳等にピアスの穴が開いている

2) 生活指導関係

指導の対象	指導項目	指導票発行の基準
共通	無断遅刻・早退・欠席 指導無視 暴言 土足・飲食 校内携帯電話使用 交通安全運転義務違反 禁止場所への立ち入り	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から連絡が無かった場合（学校欠席、再考査・実習・補講・補習・課外・掃除等の欠席も含む） ・指導に従わず改善行動を取らなかった場合 ・指導に対して暴言を発する ・学校での生活マナー（他人への不快な行動等） ・校内で手にする ・交通安全運転義務を怠っていた場合 ・高校生として不適切な場所への立ち入り（ゲームセンター、遊戯施設等）

(4) 指導の段階について

指導票発行職員による指導、担任の毎日の指導に加え、以下の段階的な指導を行う。

指導回数	5	10	12	15	17	20	25
指導者	学年主任 指導	学科主任 指導	生徒部長 指導	教頭指導 (保護者召喚)	生徒部長 指導	校長指導 (保護者召喚)	特別指導

(5) 愛校作業と指導回数の減免措置について

※愛校作業の意義

指導を受けた後、朝から先生方と会話を通して改善の深化を図り、清掃活動を通じて母校愛を育む

- 1) 生徒部が行っている愛校作業を行った場合1回につき1回累積から減らす。ただし、朝掃除の場合は本人が前日の夕方16:30までに生徒部室に届けること。
- 2) 25回目の指導を受け特別指導となった場合は、累積を全てリセットする。また、他の事案で特別指導を受けた場合も累積をリセットする。

(6) 遅刻について

- 1) 保護者から連絡のない遅刻については指導票を発行する。校門を8時30分のチャイムの後に通過した場合は校門で発行する。
- 2) 遅刻者は生徒部（職員室）で遅刻届に理由を記入後、生徒部職員に押印してもらい授業担当者に提示をする。この遅刻届を持参した場合、指導票は発行しない。

(7) 頭髪等について

※検査の目的

- ・頭髪や服装を整えることによって自律的な学校生活を送る基本的姿勢を身に付ける。
- ・将来の進路に向けしっかりした社会性を身に付ける。
- ・高校生活の充実に向けて全校生徒で取り組む。

本校では、毎月服装頭髪検査を実施しているため、頭髪については極端な変化が見られない限り指導票は発行しない。ただし、頭髪・服装が検査の結果不適切な場合は指導票を発行する。

(8) 携帯電話について

携帯電話については持ち込み及び校内での所持は認める。校内では電源オフを徹底し、使用は一切認めない。校内で携帯電話を手にしていた場合には指導票を発行する。その後、生徒部にて携帯電話を厳封し本人へ返却する。本人は翌日朝から厳封した携帯電話を生徒部へ預け放課後取りに来る。

4 校内生活について

- (1) 欠席、遅刻の場合は、必ず保護者より担任（学校）に連絡をすること。
- (2) 登校後、無断での外出は原則許可しない。やむを得ない場合は担任に届け出、生徒部で外出許可を受ける。
- (3) 所持品には必ず記名をする。
- (4) 校内には学用品以外の不必要な物は持ち込まない。
- (5) 本校には売店が無いため、家庭から弁当を持参すること。
- (6) 校内において周囲が不快に思う言動・姿勢・態度を取る行動を厳に慎むこと。

5 校外生活について

- (1) 遊技場（パチンコ店等）、カラオケボックス、ゲームセンター等への出入りは禁止。補導、指導の対象となる。
- (2) 外泊は絶対にしないこと。
- (3) 万が一、補導や指導を受けたり交通事故等に遭遇した場合は担任や学校へ速やかに報告すること。

6 アルバイトについて

高校生の主目的は学業であり、また、生徒の健全育成のためにアルバイトは原則として禁止。しかし、経済的に困難等明確な理由がある場合に限り、面談の上、保護者責任、管理下において許可する。

7 携帯電話フィルタリングについて

利用時間、利用内容等の約束事を必ず家庭で決めていただき、閲覧サイトの規制等、フィルタリングを確実に保護者責任のもと行うこと。また、個人情報の流布、個人写真掲載等は禁止。情報モラルをしっかりと身に付けた上で利用すること。

8 18歳以上の選挙権について

校内における一切の選挙活動はこれを禁止する。

9 校則の見直し・検討

- ・職員、保護者、生徒が一体となり同じ方向を向いて生徒達一人一人の将来の進路を実現させるための校則の見直し・検討の取り組みを実施する。
- ・検討等は生徒会役員の意見を聴取し「学校運営協議会」によって実施する。
- ・変更等について次年度の「高校生活の手引き」に反映させ、これを学校ホームページで公開する。

10 特別指導について

(1) 特別指導規定

※特別指導については下記の規定に従って行う

第1条 全ての生徒の特別指導は原則として補導委員会で審議し、職員会議を経て学校長が決裁し指導する。

第2条 本校規定に違反して、本校の秩序を乱し或いは本校生としての本分にもとる行為をした者は特別指導の対象となる。

第3条 特別指導中の生徒は、対外試合、練習、その他学校内外の行事等に原則参加させない。

※目的と内容

- ・特別指導は対象行為について反省し、基本的生活習慣の見直しを行い、自主自律や進路実現を目指した本校生としてあるべき姿に学校生活を改善することを目的とする。
- ・特別指導期間中は心の記録・愛校作業・学習課題に真摯に取り組ませる。

(2) 問題行動

ア 問題行動については、生徒部で調査して、補導委員会に報告する。

イ 警察等で補導された問題行動についても、本校の規定を適用する。

(3) 交通規定

※交通違反例

違反の種類	指導内容	備考
無断免許取得	特別指導	指導内容・指導方法・指導期間については補導委員会で審議し、職員会議を経て学校長が決裁し指導する。
自動車学校無断入校	特別指導	
速度超過	特別指導・審議	
一旦停止違反	特別指導・審議	
進入禁止違反	特別指導・審議	
目的外使用	特別指導・審議	
その他の違反	審議	

(4) 一般非行規定

※問題行動例

違反の種類	指導内容	備考
深夜徘徊	特別指導	指導内容・指導方法・指導期間については補導委員会で審議し、職員会議を経て学校長が決裁し指導する。
無断アルバイト	特別指導	
不正行為(カンニング)	特別指導	
飲酒・喫煙	特別指導	
誹謗中傷行為(SNS等も含む)	特別指導	
脅迫・詐欺・恐喝行為	審議	
対教師暴言・暴力行為	審議	
反社会的行動・行為	審議	

Ⅷ 奨学金について

下記は現在の在校生が受けている主な奨学金制度です。その他、いくつかの財団が奨学金制度を実施しています。それぞれの団体から募集要項が学校に到着次第、ホームルームで生徒を通じて連絡します。また、学校HPにも随時掲載しますので、ご覧ください。

名 称	熊本県育英資金	
	(修学貸与)	(緊急貸与)
担 当	県教育庁高校教育課	県教育庁高校教育課
貸与月額	自宅生：18,000円、13,000円、8,000円から選択 自宅外生：23,000円、18,000円、13,000円から選択	修学貸与と同じ
貸与期間	奨学生に採用されてから、正規の最短修業年限の終期まで（無利子）	原則として、申請月から、採用年度末まで。（ただし、翌年度まで延長可）（無利子）
対 象 者	熊本県内に居住する高校生	1年以内に家計維持者の失職、破産、病気、離別等、家計が急変した、熊本県内に居住する高校生
推 薦 基 準	学習に意欲のある者 その他所得による基準有り	勉学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがある者 学習に意欲のある者
連帯保証人	連帯保証人1人（主たる生計維持者）	修学貸与と同じ
他の奨学金との併用	できない 給付は可	できない 給付は可
募 集 時 期	毎年4～5月	年間を通じ、随時 (本校の奨学金係へご相談ください)

申請希望者は奨学金係へご相談ください。

このほかに、保護者が病気・災害・交通事故で亡くなったり、著しい後遺症のために働けないため、経済的に困難な生徒を対象とした奨学金制度もあります。

また、各市町村が実施している奨学金制度もあります。ほとんどが4月上旬で受付を締め切りますので、早急にお住まいの市町村役場へお尋ね下さい。